

不登校児童生徒を支援する 民間施設に関するガイドライン



令和3年3月
(令和5年12月更新)
西宮市教育委員会



はじめに

令和元年度の全国の国公私立小・中学校における不登校児童生徒数は「過去最多」の 181,272 人にのぼり、7 年連続で増加しています。本市においても、市立小学校は平成 26 年度から令和元年度まで 6 年連続、市立中学校は平成 28 年度から同じく 4 年連続で増加しており、平成 30 年度は合計 816 名、令和元年度は同じく 866 名と、2 年連続で 800 名を超え、過去最多となっています。

各学校においては、不登校児童生徒への支援のために、家庭訪問、教育相談、別室登校や放課後登校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、教育支援センター「あすなる学級」の紹介等、個々の不登校児童生徒や学校の状況に応じた取組みをしています。

不登校児童生徒の中にはフリースクールなどの民間施設を居場所としている者もいるため、市教育委員会では、兵庫県教育委員会の「不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」(令和 2 年 3 月)を受け、いわゆる「教育機会確保法」(平成 29 年 2 月施行)や「不登校児童生徒への支援の在り方について」(令和元年 10 月 25 日付け文部科学省通知)が求めている民間施設との連携が必要との認識のもと、これを円滑に進めるため、民間施設に関するガイドラインを策定することとしました。

同法や同通知では、不登校児童生徒への支援について、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要があること、またそれに伴い、民間施設での支援を指導要録上の出席扱いと判断する際の要件について、新たな考えが示されました。

本ガイドラインでは、民間施設における不登校児童生徒への相談・指導について、校長が指導要録上の出席扱いを判断する際に留意すべき点を示すとともに、不登校支援に関する学校や教育委員会の取組み、出席扱いを判断するための望ましい流れなどを示しています。そして参考資料として、不登校児童生徒の支援を目的とした本市や県の施設、民間施設の一部を紹介しています。

不登校児童生徒の支援にあたっては、個々の状況に応じて、社会的自立に向けた適切な居場所を提供することが重要です。教育委員会・学校と民間施設が連携し、不登校児童生徒への支援の充実につながるよう、本ガイドラインを活用いただければ幸いです。

令和 3 年 3 月

西宮市教育委員会

目次

民間施設に関するガイドライン	P.3
1 策定の趣旨	
2 活用にあたって	
3 指導要録上の出席扱いを判断するための留意事項	
1 ガイドライン活用にあたってのQ&A	P.5
2 不登校支援にあたっての学校と教育委員会の取組み	P.6
・学校の主な取組み	
・教育委員会の主な取組み	
3 不登校児童生徒の居場所について	P.8
・学校	
・西宮市の教育支援センター「あすなろ」・県立施設	
・不登校児童生徒を支援する民間施設(フリースクール等)	・在宅
・子供たちへの支援に向けて	
4 民間施設活用における指導要録上の「出席扱い」について	P.9
5 民間施設訪問記録様式	P.10
6 不登校児童生徒への支援を行う市立施設等の紹介	P.12
・教育支援センター「あすなろ」	
みらい、なるおきた、かわらぎ、やまぐち、しおせ、うえがはら、はまわき	
7 不登校児童生徒への支援を行う県立施設の紹介	P.14
・県立施設	
・兵庫県立但馬やまびこの郷 兵庫県立神出学園 兵庫県立山の学校	
8 不登校児童生徒への支援を行う民間施設の紹介	P.15
・民間施設	
・18施設	
9 不登校にかかる国の主な通知とポイント	P.34
《資料》西宮市不登校児童生徒の状況	P.36

本ガイドラインに掲載した民間施設について

本ガイドラインに掲載している民間施設については、依頼に対して掲載希望があり、かつ市が設定した以下の5つの要件をすべて満たした施設です。不登校児童生徒が民間施設を活用した際の指導要録上の「出席扱い」については、保護者の申し出を受け、該当児童生徒の状況を踏まえたうえで、個々に判断することが必要です。掲載された施設に通所すれば一律に出席扱いになるということではありません。また、掲載されていない施設でも文科省が示す要件等を満たした場合は、出席扱いとなる可能性があります。

【掲載に関する要件】

- ① 在籍する児童生徒が、指導要録上の出席扱いを認められた実績がある。
※西宮市立学校に限らない
- ② 義務教育段階の児童生徒を受け入れている。
- ③ 通常、学校のある時間帯に受け入れを行っている。
- ④ 学習支援以外に、体験活動、交流活動等、複数の活動を実施している。
- ⑤ 「子供たちの活動・成長」等の紹介が記載されている。

民間施設に関するガイドライン

西宮市教育委員会

1. 策定の趣旨

平成 29 年 2 月に施行された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(いわゆる「教育機会確保法」)では、その基本理念として、不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援を行うことが示された。

不登校児童生徒の中には、フリースクール等の民間施設で支援を受けている者もあり、その社会的自立のためには、学校や市教育委員会と民間施設との連携を図ることが重要である。そこで、県教育委員会が策定した「不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」を踏まえ、市教育委員会として学校が、民間施設に通所する不登校児童生徒の「出席扱い」について判断する際に留意すべき点を目安として示したガイドラインを策定する。

2. 活用にあたって

このガイドラインは、個々の民間施設についてその適否を評価するという趣旨のものではない。したがって、学校や市教育委員会においては、民間施設に通所する不登校児童生徒の「出席扱い」について判断する際に、このガイドラインに掲げた事項を参考としながら、各民間施設への訪問等を通して、児童生徒の安全・安心が確保されていることや、活動内容等を十分把握し、施設における支援が、児童生徒の社会的自立につながっているのかを、総合的に判断することが求められる。

3. 指導要録上の出席扱いを判断するための留意事項

①実施主体について

- (1) 法人、個人は問わないが、実施者が不登校児童生徒に対する支援等に関し深い理解と知識又は経験を有し、かつ社会的信望を有していること。
- (2) 不登校児童生徒に対する支援を行うことの目的が明確であり、自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指す取組がなされていること。
- (3) 著しく営利本位ではなく、入会金、授業料(月額・年額等)等が明確にされ、保護者等に情報提供がなされていること。

②支援の在り方について

- (1) 児童生徒の人命や人格を尊重した人間味のある温かい支援が行われていること。
- (2) 情緒的混乱、情緒障害及び非行等の態様の不登校など、支援の対象となる児童生徒が当該施設の支援体制に応じて明確にされていること。また、受入れに当たっては面接を行うなどして、当該児童生徒の状況把握が適切に行われていること。
- (3) 指導内容・方法、相談手法及び支援の体制があらかじめ明示されており、かつ児童生徒の状況に応じた適切な内容の支援が行われていること。
- (4) 児童生徒の学習支援や進路の状況等につき、保護者等に情報提供がなされていること。

- (5)体罰などの不適切な指導や人権侵害行為が行われていないこと。
- (6)当該児童生徒にとって最善の利益が尊重されること。

③支援スタッフについて

- (1) 支援スタッフは児童生徒の教育に深い理解を有するとともに、不適応・問題行動の問題等について知識・経験をもち、その指導に熱意を有していること。また、実施者は、支援スタッフの資質向上に努めること。
- (2) 専門的なカウンセリング等の方法を行うにあっては、公認心理師や臨床心理士等の有資格者や心理学や精神医学等、それを行うにふさわしい専門的知識と経験を備えたスタッフが指導にあたっていること。
- (3) 宿泊による活動を行う施設にあっては、生活指導にあたる者を含め、当該施設の活動を行うにふさわしい資質を具えたスタッフが配置されていること。

④施設・設備について

- (1) 学習や支援等の活動を行うために必要な施設・設備を利用できる状況にあること。
- (2) 利用施設・設備にあっては、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものであること。
- (3) 宿泊による指導を行う施設にあっては、宿泊をはじめ児童生徒が安全で健康的な生活を営むために必要な施設、設備を有していること。

⑤学校・教育委員会と施設との関係について

- (1) 児童生徒のプライバシーにも配慮の上、施設への通所状況や学習等の活動の様子、支援経過などの必要な事項について、月に1回程度を目安として学校へ情報提供が行われること。
- (2) 学校と施設が相互に、児童生徒やその家庭を支援するために必要な情報等を交換するなど、学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。

⑥家庭との関係について

- (1) 施設での支援経過を保護者に定期的に連絡するなど、家庭との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。
- (2) 宿泊による指導を行う施設にあっては、たとえ当該施設の指導方針がいかなるものであっても、保護者の側に対し面会や退所の自由が確保されていること。

1. ガイドライン活用にあたってのQ&A

Q 指導要録上の出席扱いを判断する際、必ず民間施設を訪問しなければならないですか？
また、判断にあたって校長は教育委員会と連携をとらなければならないですか？

A 令和元年10月25日付け文科省通知『不登校児童生徒への支援の在り方について』に、「民間施設における相談・指導が個々の児童生徒にとって適切であるかどうかについては、校長が、設置者である教育委員会と十分な連携をとって判断するものとする」と記されているように、個に応じて適切かどうかの判断が必要となります。保護者から指導要録上の出席扱いの求めがあった場合、施設が当該児童生徒にとって適切であるかどうかを判断するために、可能な限り視察を行なうことが望ましいと考えます。また、判断については教育委員会と十分な連携を図ったうえで行うようお願いいたします。状況によっては教育委員会の担当者も視察を行います。

Q 指導要録上の出席扱いの判断をした児童生徒について、出席簿及び指導要録の記載はどのようにすればよいですか？

A 当該児童生徒が学校に登校していない場合、出席簿は欠席(事故欠)となります。不登校を理由として年間30日以上欠席した場合は、毎年文部科学省が実施している問題行動等の調査で、不登校児童生徒として計上する必要があります。指導要録上の出席扱いとなった日数については、指導要録の出席日数の内数として、出席扱いとした日数及び児童生徒が通所又は入所した学校外の施設名を記入する必要があります。市の教育支援センター「あすなろ」やその他の公的施設についても指導要録上の出席扱いとした場合の記入の仕方は同じです。

Q 保護者から、学校外の施設について紹介してほしいとの申し出があった場合、公的施設だけでなく本ガイドラインに掲載している民間施設についても保護者にお伝えしてよいですか？

A 本ガイドラインに掲載している施設のうち、公的施設は本市教育委員会及び兵庫県教育委員会が所管している施設です。また民間施設については、本ガイドラインへの掲載を希望された施設のうち、「一定の要件」を満たした場合はすべて掲載しています。「一定の要件」については、2ページに記載している5点です。掲載内容については各施設が記入されたものであり、市教育委員会が記入したものではありません。

本ガイドラインに掲載の民間施設は、市教育委員会として推薦している意味ではありませんが、学校が保護者への情報提供を目的としてお伝えしていただいて結構です。なお、本ガイドラインは市教育委員会・学校保健安全課のホームページに掲載しております。

Q 不登校児童生徒への支援の目標が、「社会的自立を目指すこと」となりましたが、学校として学校復帰を求めているとはいけないのですか？

A 不登校児童生徒自らが学校への登校を目指している場合、当該児童生徒にとってそのことが社会的自立の一つであると捉え、学校としてその支援を行うこととなります。日頃から不登校児童生徒や保護者と十分に意思疎通を図ったうえでの支援が大切です。

2. 不登校支援にあたっての学校と教育委員会の取組み

学校の主な取組み

- 学校不登校対策チームを中心とした組織的対応
- 学校の実態把握に基づいた不登校対策支援プランの作成、プランの実践・検証・改善

【発達支持的生徒指導】

- ・ 児童生徒にとって安全・安心な居場所となる魅力ある学校づくり・学級づくり
- ・ どの児童生徒にとっても「分かる授業」、「面白い授業」を心がける
- ・ 学校のきまりなど、「これまでの当たり前」についての見直しや検討
- ・ 特別活動の充実(子供たちが主体的に判断し決定する児童会・生徒会活動、集団づくりや居場所づくりを意識した学級経営、達成感・充実感のある行事づくり、縦割り集団等による異学年交流の実施等)
- ・ 地域行事や地域ボランティアへの参加



【課題未然防止教育】

- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携
- ・ 児童生徒理解研修会やカウンセリングマインド研修会等の各種研修会の実施

【課題早期発見対応】

- ・ 生活アンケート等による児童生徒の状況把握
- ・ 教育相談やいわゆるチャンス相談による児童生徒理解
- ・ こころん・サーモによる児童生徒の心の状態把握
- ・ 家庭訪問等による不登校児童生徒及び保護者との面談・状況把握
- ・ 児童生徒が不登校になることで不安や焦りを感じている保護者へのカウンセリング等の支援
- ・ 会議、シート等を活用した不登校児童生徒の状況把握や支援に関する共通理解
- ・ 学校不登校対策チームによるアセスメントとケース会議の実施

【困難課題対応】

- ・ 学校不登校対策チームを中心としたケース会議による具体的な対応の決定
- ・ サポートルーム登校や放課後登校等、個々の状況に応じた教育相談や学習支援
- ・ 学習プリント等による個別の学習支援
- ・ ICTを活用した授業、学習支援・教育相談
- ・ 意図・目的、方法及び成果を検証した家庭訪問による支援
- ・ 西宮市立こども未来センターとの連携
- ・ 市の教育支援センターや県立施設等との連携

- 不登校児童生徒が通所するフリースクール等民間施設への訪問、連携 など

教育委員会の主な取り組み

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣
- 小學校生徒指導担当者会の開催(年3回)
- 生徒指導に関する協議の会の開催(年4回)
- 長期欠席児童生徒の把握(毎月)
- 不登校に関する研修会の実施(年2回)
- 居場所サポーター派遣事業の実施
- 資料「私たちに何ができるか」(教員用資料)の作成
- 不登校に関する情報提供(西宮市ホームページ:学校保健安全課)

[不登校児童生徒への支援について](#)



- 教育支援センター「あすなろ」での不登校児童生徒支援(各施設の紹介 P.12 参照)

[教育支援センター「あすなろ」一覧](#)

[教育支援センター「あすなろ」について](#)



- 不登校児童生徒オンライン支援
(「あすなろオンライン」つながり支援、「あすなろとく」オンライン相談支援)

[不登校児童生徒オンライン支援](#)



- 他市教育支援センター及び不登校児童生徒を支援する県立施設の視察
- 西宮市立こども未来センターとの連携
- 不登校児童生徒を支援する民間施設との交流会の開催
- 不登校児童生徒を支援する民間施設への訪問・情報収集
- 西宮市不登校対策庁内検討委員会の開催
- 西宮市不登校対策連絡協議会の開催
- 不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドラインの策定 など

3. 不登校児童生徒の居場所について

学校(教室に入れない場合)

※該当児童生徒及び学校の実情に応じて

- ・サポートルーム登校や放課後登校等による教育相談や学習支援
- ・居場所サポーターの活用
- ・進路や学習などの情報を具体的に提供 など

西宮市の教育支援センター「あすなろ」・県立施設

- ・学校による当該児童生徒及び保護者への各施設の案内
- ・各施設と学校の連携した支援

不登校児童生徒を支援する民間施設(フリースクール等)

- ・教育委員会と民間施設の情報交換会
- ・教育委員会、学校による民間施設への訪問及び情報収集
- ・学校と民間施設との連携
- ・本ガイドライン及び兵庫県教育委員会のガイドラインの活用

在宅

[義務教育段階の不登校児童生徒が自宅において学習活動を行った場合の指導要録上の出欠の取扱いに関するガイドライン](#)

- ・家庭訪問や電話連絡等による状況把握や社会的自立に向けた支援
- ・学習プリント等やICTを活用した学習支援 など

子供たちへの支援に向けて…

不登校児童生徒の状況は一人一人異なるため、必要な支援も異なります。また同じ個人であっても状況の変化により、支援のあり方も変化します。そのため、日頃から学校と家庭が連携し、それぞれの状況における社会的自立に向けた適切な支援を共有する必要があります。居場所については学校外にもたくさんあります。家庭以外の居場所を求めている不登校児童生徒も多いことから、学校は本ガイドラインや兵庫県教育委員会のガイドライン等を活用するなどにより、情報を得ておくことが大切です。

4. 民間施設活用における指導要録上の「出席扱い」について

校長が民間施設に通う不登校児童生徒の指導要録上の「出席扱い」を判断する主な要件

- ・我が国の義務教育制度を前提とした学習カリキュラムに基づいた学習支援を行っている
- ・不登校児童生徒に対する相談・指導を行うことを主たる目的としている施設である
- ・不登校児童生徒が社会的自立を目指す活動を行っている(学習活動、体験活動など)
- ・不登校児童生徒が自ら登校を希望した際に、円滑な学校復帰が可能な施設である
- ・学校、家庭、施設の三者間の十分な連携・協力関係を保つことができる

文科省通知より

指導要録上の「出席扱い」を判断するまでの流れ

- ①民間施設に通所している不登校児童生徒及び保護者から「出席扱い」に関する申し出
- ②学校が保護者から不登校児童生徒の状況や通所する民間施設について聞き取り
- ③学校による可能な限りの当該民間施設の視察(状況により教育委員会も視察)
- ④校内において「出席扱い」に関する協議
- ⑤校長と教育委員会による「出席扱い」に関する協議
- ⑥校長が「出席扱い」の適否について判断し、保護者に伝える

「出席扱い」認定後

・学校、家庭、施設との定期的な情報交換、連携・協力
(例) 施設から学校に月1回程度送付される報告書等を活用

自宅において学習活動を行う場合

「不登校児童生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合の指導要録上の出欠の取扱いについて」(文科省通知より)

義務教育段階の不登校児童生徒が自宅においてICT等を活用した学習活動を行うとき、当該不登校児童生徒の社会的自立を助けるうえで有効・適切と判断し、下記の要件を満たす場合に、校長は、指導要録上の「出席扱い」とすることができる

出席扱いの要件

- ① 我が国の義務教育制度を前提としており、学習の理解の程度を踏まえた計画的な学習プログラムである
- ② 自ら登校を希望した際に、円滑な学校復帰が可能となる学習の内容である
- ③ 学校、家庭、(学習を提供する者)が十分な連携・協力関係を保つことができる
- ④ インターネット、遠隔教育システム、郵送、FAXなどを活用した学習活動である
- ⑤ 訪問等による対面指導を、定期的・継続的に行うことができる
- ⑥ 校長が、状況について十分に把握する(定期的報告、連絡会の実施等)
- ⑦ 学校外の公的機関、民間施設で相談・指導を受けられない場合に行う学習活動である

★文部科学省通知の出席扱いの要件等を基に、「義務教育段階の不登校児童生徒が自宅において学習活動を行った場合の指導要録上の出欠の取扱いに関するガイドライン」を作成(令和4年3月25日)

5. 民間施設訪問記録用紙

1	訪問日時	年 月 日() : ~ :
2	訪問施設名	
3	対象児童生徒名	学校 年 組 名前
4	訪問者名・職名	
5	施設代表者名	
6	施設応対者名	
7	施設所在地	〒 ☎ FAX
8	施設概要	
	1 開設時期	
	2 在籍児童生徒数	名(小: 名)(中: 名)(高: 名)
	3 費用	・入学金 ・年間費用 円(月額 円) ・その他費用 円
	4 指導者等	名 ・代表者所有資格 (教育免許・臨床心理士・社会福祉士・) ・その他の指導者 (教育免許・臨床心理士・社会福祉士・)
	5 施設・設備等	・学習室 有()室・無 [様子]() ・面接・相談室 有()室・無 [様子]() ・体育施設・プレイルーム 有()室・無 [様子]() ・保健室 有()室・無 [様子]() ・その他の設備()
9	入学案内・HP	
	1 入学案内があるか	有 ・ 無
	2 ホームページを開設しているか(ブログを含む)	有 ・ 無
	3 経営方針について明記されているか	有 ・ 無
	4 指導内容・方法・相談・指導体制が明記されているか	有 ・ 無
	5 必要経費等が明記されているか	有 ・ 無
	6 指導者名が明記されているか	有 ・ 無
	7 定期的に更新されているか	有 ・ 無

10	連携について	
	1 学校との連携方法	
	2 学校との連携頻度	
	3 家庭との連携方法	
	4 家庭との連携頻度	
11	その他	
	1 不登校児童生徒への相談・指導を主たる目的とした施設か	Yes・No
	2 不登校児童生徒の社会的な自立を目指す活動を行う施設か	Yes・No
	3 我が国の義務教育制度を前提とした学習カリキュラム(時間割)か	Yes・No
	4 不登校児童生徒個々の出席状況や学習指導・相談等に関する記録があり、それを定期的に学校に送付することにより、学校・家庭・施設の三者間の連携が可能か	Yes・No
	5 通所する不登校児童生徒が自ら登校を希望した際に、それを妨げず、円滑に学校復帰への支援を行う施設か	Yes・No
	6 在籍する不登校児童生徒で、指導要録上の「出席扱い」を受けた児童生徒はいるか(過去・現在)	Yes・No
12	所見	
13	指導要録上の「出席扱い」	
	1 学校と教育委員会との協議	済み・未
	2 指導要録上の「出席扱い」の判断	可・否

6. 不登校児童生徒への支援を行う市立施設の紹介

本市には、市立小・中・義務教育学校に在籍する不登校の児童生徒を対象とした以下の施設があります。※利用は在籍の学校に相談してください。

教育支援センター「あすなろ」

あすなろ みらい

令和元年10月開設【西宮市立こども未来センター内】

所在地 西宮市高畑町 2-77

☎ 0798-35-1881

アクセス 阪急西宮北口
駅より南東徒歩 8 分

開所日 (月)～(木) 午前の部 9:30～11:30
午後の部 13:00～15:00

特徴等 少人数制、半日制

活動内容 自主学習、交流活動、ソーシャルスキルトレーニング など

受入人数 午前の部・午後の部それぞれ 20 名程度

指導員 教職経験者等 4 名

経費 無料



あすなろ なるおきた

令和元年10月開設【西宮市立鳴尾北幼稚園(休園施設)内】

所在地 西宮市花園町 10-20

☎ 0798-41-6349

アクセス 阪神甲子園駅ま
たは鳴尾・武庫川女子大前
駅より北へ徒歩 10 分

開所日 (月)～(木) 9:15～14:15

特徴等 全日、弁当持参

活動内容 自主学習、スポーツ活動、交流活動、体験活動など

受入人数 40 名程度

指導員 教職経験者等 4 名

経費 実習費(数百円程度)



あすなろ かわらぎ

令和3年4月開設【西宮市立瓦木幼稚園(休園施設)内】

所在地 西宮市中島町5-2

☎ 0798-65-7213

アクセス JR 甲子園口駅
より西へ徒歩10分

開所日 (月)~(木) 午前の部 9:30~11:30
午後の部 13:00~15:00

特徴等 午前の部 カリキュラム制
午後の部 フリーセレクション制

活動内容 自主学習、スポーツ活動、交流活動

受入人数 午前の部・午後の部それぞれ40名程度

指導員 教職経験者等5名

経費 実習費(数百円程度)



あすなろ やまぐち

令和3年8月より開始【西宮市立山口中学校内】

所在地 西宮市山口町上山口2-3-43

☎ 078-903-2727

アクセス 阪急バス
山口センター前下車徒歩2分

開所日 (月)~(水)、(金) 午後の部 13:10~15:10

特徴等 カリキュラム制、半日制

活動内容 自主学習、スポーツ活動、交流活動

受入人数 15名程度

指導員 教職経験者等2名

経費 実習費(数百円程度)



あすなろ しおせ

令和3年4月より開始【塩瀬センター3階 塩瀬公民館内】

所在地 西宮市塩瀬町名塩新町1
塩瀬センター3階 塩瀬公民館内

アクセス JR 西宮名塩駅下車徒歩1分
阪急バス JR 西宮名塩園前下車徒歩1分

開所日 週2日 13:00~15:00

特徴等 少人数制、半日制

活動内容 自主学習、交流活動

受入人数 15名程度

指導員 教職経験者等2名

経費 無料



あすなろ うえがはら

令和4年4月より開始【上ヶ原公民館内】

所在地 西宮市六軒町 1-32
上ヶ原公民館内(2階)

アクセス
阪急・阪神バス大社町下車徒歩2分

開所日 週1日 13:00~15:00

特徴等 少人数制、半日制

活動内容 自主学習、交流活動

受入人数 15名程度

指導員 教職経験者等2名

経費 無料



あすなろ はまわき

令和4年4月より開始【浜脇公民館内】

所在地 西宮市浜脇町 5-14
浜脇公民館内(2階)

アクセス 阪神西宮駅徒歩8分
阪急バス石在町停留所徒歩7分

開所日 週1日 13:00~15:00

特徴等 少人数制、半日制

活動内容 自主学習、交流活動

受入人数 15名程度

指導員 教職経験者等2名

経費 無料



7. 不登校児童生徒への支援を行う県立施設の紹介

施設名	所在地	対象児童生徒
兵庫県立但馬やまびこの郷	朝来市山東町森字向山 45-101 ☎079-676-4724	不登校・不登校傾向の小・中学生
兵庫県立神出学園	神戸市西区神出町小東野 30 ☎078-965-1122	中学校を卒業した 23 歳未満の男女
兵庫県立山の学校	宍粟市山崎町五十波 430-2 ☎0790-62-8088	中学校を卒業した 21 歳未満の男子

8. 不登校児童生徒への支援を行う民間施設の紹介




	施設名	所在地
1	NPO 法人あんずぼこ ぼこ夙川教室	西宮市松園町 13-25-102
2	西宮サドベリースクール	西宮市広田町 2-15
3	new-look TOB塾	西宮市高木西町 14-6
4	トライ式高等学院 西宮北口キャンパス	西宮市北昭和町 8-13 カサマドンナ V 2F~3F
5	YUME School	尼崎市潮江 1 丁目 15-3 アミダ 潮江イスト 15-3 号棟 1F
6	東京大志学園 芦屋校	芦屋市上宮川町 4-1 2F
7	ハッピーニューロン	芦屋市伊勢町 10-6
8	神戸フリースクール	神戸市中央区北長狭通 7 丁目 3-11 坂下ビル 2F
9	ラーンネット・エッジ	神戸市灘区篠原南町 6-1-10 グラブルア灘 20A 号
10	第一学院中等部 神戸キャンパス	神戸市中央区磯辺通 4-1-38 サ・シティ神戸三宮ビル 7F
11	学研 WILL 学園 大阪梅田キャンパス	大阪市北区中崎西 1-2-13 サプライズビル 4F
12	八洲学園 梅田キャンパス 中等部(フリースクール)	大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 2 階
13	八洲学園 三宮キャンパス 中等部(フリースクール)	神戸市中央区磯上通 8-1-33 幸和ビル 2F
14	フリースクールここ吹田校【あまかり】	吹田市内本町 1-19-7
15	フリースクールここ南吹田校【いどばた】	吹田市南清和園町 3-26
16	N 中等部 江坂キャンパス	吹田市豊津町 14-12 ダイトー江坂ビル 6F
17	きつきやま森の学び舎	池田市西本町 3-1
18	デモグラフィクススクールまっくろくろすけ	神崎郡市川町坂戸 592

※民間の施設紹介の内容について

施設紹介については、市が様式を定め、各施設に提出していただいたものであり、内容については、西宮市教育委員会では改変していません。施設の紹介基準は、目次のページを参照願います。

※次ページ以降の施設としての方針の記号について

◎最も力を入れている ○取り組んでいる △場合により活動する —活動なし

施設名 NPO 法人あんずぽこ ぽこ夙川教室 		所在地 西宮市松園町13-25松園ハイツ102	
		交通機関最寄駅 阪急夙川駅より徒歩5分	
HP	https://anspoco.amebaownd.com/	TEL	0798-56-9505
E-Mail	kawana2yo@gmail.com	FAX	0798-75-2618
設置者及び代表者	河村夏代	【施設としての方針】 不登校の子どもが安心して「今」を元気に過ごし自立の基盤を育む場を提供します。画面を共有したゲームでの仲間づくり、経験豊かなスタッフによる学習支援、臨床心理士によるカウンセリングなど、利用者が自己肯定感を高め将来への希望を見出すよう、気長に伴走します。	
設立	2014年 3月		
受入校種	㊦・㊧・㊨・特		
運営日時	月曜～金曜 9：30 ～14：30		
定員	10名(同時利用数)	学習支援	屋外活動
		屋内活動	教育相談
		仲間作り	親の会
在籍者数	23名 (2023年9月末現在)	◎	○
		○	◎
		◎	◎
スタッフ	2～3名/1日	【具体的なカリキュラム】	
費用	入会金17000円	英語 数学 国語の中学高校の教科指導・高卒認定試験対策・通信高校のレポート支援・TOEIC/英検・漢検/文章検の個人指導をします。ゲームや遊びを通じた仲間づくり、カウンセリング/箱庭療法などにより、子どもの自己肯定感が回復するように伴走します。「不登校を考	
	利用料1回2000円		
	賛助会費3000円		
子供たちの活動・成長			
<p>学校に行けなくなったときはまず休養が必要です。休養してヒマを感じ始めたころに親に連れられ見学に来ます。体験2回を経て、利用するかどうか決めます。</p> <p>個別の要望に応じた利用（内容/回数）をします。</p> <p>希望すれば昼食時に味噌汁提供します。ゲーム部屋が気に入り、通い始める人も多のですが、学習目的に通う人もいます。</p> <p>調理実習や理科実習折り紙やお絵かき、ソファで昼寝もあります。</p> <p>無理強いをしないので、ゲーム参加も自己主張が必要です。</p> <p>一人でゲームしていた人が自然と加わり楽しそうにしています。ゲームの中で自己主張をし、互いの理解を深め、徐々に深くつながっていきます。異学年なので関係が作りやすい面もあります。また、一緒に何もしなくても、他の不登校児の様子をみて、自己を省みています。学校になじめなかったことで自信を無くしている人が多い。例えば、「運動会嫌だった」「そうそう！」こんな会話でも「これでいいんだ」と自信を回復するのに役立ちます。スタッフは子どもたちのつぶやきを聴きオトナの当り前について考えています。主体性のある子どもが未来社会を拓きます。子どもたちを信頼し、一緒に成長しながら伴走します。</p>			
			
			

施設名 西宮サドベリースクール		所在地 兵庫県西宮市広田町2-15					
		交通機関最寄駅 阪急西宮北口 徒歩15分					
HP	nishinomiya-sud.com	TEL	0798-70-0777				
E-Mail	staff@nishinomiya-sud.com	FAX	0798-70-0777				
設置者及び代表者	倉谷明伸	【施設としての方針】					
設立	2000年 4月	・子どもを100%信頼する					
受入校種	○小・○中・○高・特	・時間割、テストがない					
運営日時	月曜～金曜 10:00～16:00	・子どもたちが学校運営を行う					
		・自分の夢、やりたいことを叶える選択肢がある					
定員	30名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	24名 (2020年11月現在)	○	○	○	—	○	—
スタッフ	2名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 0円	カリキュラムなし。時間割も、テストもない学校					
	授業料 月35,000円						
	その他 0円						
子供たちの活動・成長							
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢を探して実現できる。 ・学びたいことを自由に、好きなだけ学ぶことができる。 ・自分の頭で考えて動くことができる。 ・色々な価値観に出会って、自分の世界が広がっていく。 ・社会で必要とされるスキルが身につく。 <p>子どもたちはそれらをそれぞれ得られていく。</p> <p>自分の夢を叶えるためのとっておきの選択肢「プロジェクト」やスクールの決定を行うための生徒とスタッフ、保護者が対等の立場で話し合う「ミーティング」子どもたちによって作られた「ルール」による自治など様々な特色がある。</p>							

施設名 一般社団法人new-look TOB塾西宮本校		所在地 西宮市高木西町14-6					
		交通機関最寄駅 阪急西宮北口駅から徒歩7分					
HP	https://www.new-look.jp/	TEL	0798-56-7139				
E-Mail	info@new-look.jp	FAX	-				
設置者及び代表者	山口 真史	【施設としての方針】 * それぞれに合ったペース・内容でサポートします * 勉強の成果より、どう生きていくのかを考え人間的な成長に 焦点を当てます					
設立	2013年5月	* 迷いや失敗も経験としてOKと思える空間を整えます					
受入校種	小 中 高 特	* それぞれの生き方を応援します					
運営日時	火曜・水曜・金曜 10:00～21:00 (その他状況に応じて)						
定員	30名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	25名 (2023年9月末現在)	◎	△	○	○	○	△
スタッフ	15名	【具体的なカリキュラム】 ・それぞれの目標・目的に合わせてオーダーメイドで1対1の完全個別 で授業を行います／・高校受験、高卒認定試験、通信制高校の卒業サ ポート、大学受験などの他、各種資格や就職・転職・編入学、進路を 一緒に考えるなど特殊なケースもご相談ください					
費用	入会金 20,000円						
	授業料 月24,000円						
	その他 とくになし						
子供たちの活動・成長							
<p>< 特色 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の不登校生から全日制高校、通信制高校、高校中退者、既卒に高卒認定から大学受験まで幅広く支援を行ってまいりました。就職やアルバイトの相談、資格取得のサポートなども行ってまいりますので今だけでなく将来を見据えた自立に向けたサポートを行うことが可能です。もちろん普通の塾としてもご利用頂けます。 ・ 令和5年度から毎月、テーブルゲームの会やnew-look人間学（人と仲良くなる、効果の高い勉強法、コミュニケーション研修など人生に役立つ人間理解をテーマにした勉強会）などの行事も復活しています。目の前もことだけではなく次のステップのための機会も作っています。 <p>< 卒塾生・保護者の声 ></p> <p>①この一年間、本当にお世話になりました。TOB塾を知ってから本人には話していたのですが、本人はなかなか気が進まず4月になってからでした。授業をして頂く様になってからは「もっと早く行っておけば良かった」と話しておりました。本人からは授業についても日頃から話を聞いておρισして、本人としても中身の濃い充実した一年間を過ごせたのではと感じています。（保護者）</p> <p>②担当の先生方が手厚く見守ってくださっていて、本人も内なる気持ちを出せている様なので、本人もそうですが私たち親としても、有難く信頼してお任せ出来ます。（保護者）</p> <p>③授業で最初から最後まで勉強するってわけではなかったから雑談することも多く、そのおかげで通うのが辛くなかったっていうのはあったかもしれないです。受験前なんかはぎっちり授業ってこともありましたが。1対1で、自分が分からないところに合わせてもらえるので、分からないところが聞きやすいというのはありました。学校だと授業のあととかタイミング掴めなくて質問できなかったんですけど、ここでは聞きやすかったです。（卒塾生）</p>							

施設名 トライ式高等学院 中等部 西宮北口キャンパス		所在地 西宮市北昭和町8-13 カサマドンナV 2・3F					
		交通機関最寄駅 阪急 西宮北口駅 徒歩5分					
HP	https://www.try-gakuin.com/support_kyoten/hyogo/nishinomiyaakitaguchi/	TEL	0798-65-2225				
E-Mail	try-gakuin-nishinomiyaakitaguchi@trygroup.com	FAX	0798-62-3678				
設置者及び代表者	藤本 理紗子	【施設としての方針】 ・個別指導で自分だけの学びを進める ・キャリアセミナーやマナー講座を受講し自己啓発を行う ・様々なイベントや行事を通して仲間作りや思いで作りを実施 ・キャンパス内で社会の縮図を感じ、成長する					
設立	2019年 11月						
受入校種	小・ 中 ・ 高 ・特						
運営日時	月曜～ 金曜 9:00～ 16:00						
定員	100名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	35名 (2020年9月現在)	◎	○	○	◎	◎	△
スタッフ	22名	【具体的なカリキュラム】 ・オーダーメイドカリキュラム ・マンツーマン指導(教科は相談可) ・AIタブレット学習 ・TryIT映像学習					
費用	入会金 50000 円						
	授業料 月 4950円～						
	その他 10000円/年						
子供たちの活動・成長							
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの夢や目標を実現できるようにプロ講師によるマンツーマン指導で効率的な学習指導を実施。 ・実際に仕事に就かれている方を講師として招き実体験を踏まえた進路決定の参考になるキャリアセミナーを定期的開催。 ・各イベント毎に実行員会を設け、生徒が自主的に目標達成に向かって取り組める環境が整っている。 ・「集団授業に比べて分かりやすい」「友達もイベントに参加すればすぐに出来た」「自分のやりたい事をやれる場所」などの感想を多くの生徒が話してくれている。 							

施設名 YUME School尼崎校		所在地 尼崎市潮江1-15-3 アミダ潮江イースト15-3号棟1F					
		交通機関最寄駅 JR尼崎駅 徒歩7分					
HP	https://school.yume.support/amagasaki/ https://yumeschool-amagasaki.website/	TEL	06-4960-7351				
E-Mail	amagasaki@yume.support	FAX	06-4960-7352				
設置者及び代表者	宮崎	【施設としての方針】 基礎から勉強をやり直したいお子さんや、個別学習で自分のペースで学習したいお子さんなど、さまざまな目的に合わせてお子さんをサポートしてくれるフリースクールです。YUME School 尼崎校では、マイプロジェクト（探求型学習）を推進しており、身の回りの課題や関心をテーマにプロジェクトを立ち上げたり、コンテストに参加を通して自分の知識・経験としながら、自らの進路に繋げていけるような学習サポートを行っております。不登校のお子さんたちが自分の得意なことを通して、自立・成長し、自らの進路に真剣に居り組める環境を提供できるように1人1人に寄り添った対応を致します。					
設立	2021年5月						
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	月曜～金曜 10:00～18:00						
定員	名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	名 (2023年9月末現在)	◎	◎	◎	◎	◎	—
スタッフ	名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 55,000 円	小中高					
	授業料 月 22,000円～						
	その他 円						
子供たちの活動・成長							
身の回りの課題や関心をテーマに、プロジェクトを立ち上げたり、コンテストに参加・計画を実行することを通して学ぶ、探究型の学習を推進しており、引きこもり、不登校の生徒らが、積極的に取り組んでいる。							

施設名 公益財団法人 こども教育支援財団 東京大志学園 芦屋校		所在地 芦屋市上宮川町4-1 1F					
		交通機関最寄駅 JR「芦屋駅」下車 徒歩3分					
HP	https://tokyo-taishi.net/campuses/ashiya	TEL	0797-38-7686				
E-Mail	ashiya_info@kodomo-zaidan.net	FAX	0797-23-2400				
設置者及び代表者	片山 義弘	【施設としての方針】					
設立	2005年4月	・時間割に基づくキャンパス通学を通じた学校復帰支援					
受入校種	小・中・高・特	・心理士や教員免許の有資格者、大学生ボランティアによるサポート					
運営日時	月曜～ 金曜 9:20 ～ 15:40	・子どものペースに合わせたコース選択（週2～5コース、週1コース、家庭訪問コース、ファミリープラン、オンラインカウンセリングなど）					
定員	30 名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	25 名 (2023年9月末現在)	◎	◎	◎	◎	◎	△
スタッフ	15 名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 3万円	・時間割に基づいた授業の実施					
	授業料 月2万-4.3万円	・クラーク記念国際高校の教員による授業の実施					
	その他 円	・課外活動の充実 ・在籍校との学校連携と出席認定					
子供たちの活動・成長							
【授業や課外活動の様子】							
							
【卒業生の声】							
<p>Aさん（高校生）：自分のペースで高校に通いながら、好きな3DCGの勉強にも取り組んでいます！ 東京大志学園に通い始めたのは中3の11月からだったけど、今思えば勉強とかに慣れるという意味でもっと早くから通っておけばよかったと思っています。</p> <p>Bさん（大学生）：東京大志学園にいた頃は、友達と話すのが楽しくて、そんな友達と会いたくて大志に来ていました。今は大学生になり、バイトも学生生活も楽しんでいます。 今後は心理学、特に犯罪心理のことを勉強してみたいな、と思っています！</p>							
		← ホームページも是非ごらんください。					

施設名 フリースクール 「ハッピーニューロン」		所在地 芦屋市伊勢町10-6					
		交通機関最寄駅 阪神「芦屋」徒歩13分、 JR「芦屋」徒歩15分、阪急「芦屋川」徒歩20分					
HP	改定中	TEL	0797-32-3032				
E-Mail	info@happy-neuron.co.jp	FAX	0797-32-3033				
設置者及び代表者	中山麻子	【施設としての方針】 —子どもの笑い声が響く場所—					
設立	平成27年12月	○不安を抱える子どもや保護者が安心できる「環境」を提供しています。					
受入校種	○小・○中・○高・○特	○子どもに関わる全ての人、その子どもの幸せを強く想い接します。					
運営日時	月曜～金曜 10:00～17:00	○図書館や美術博物館が近隣にあり、教育環境として安心な立地です。					
		○子どもに最適なプランを話し合い、完全オーダーメイドで提供します。					
定員	20名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	15名 (2023年10月末現在)	○	◎	◎	◎	◎	◎
スタッフ	11名 (講師含む)	【具体的なカリキュラム】 (プログラム例)					
費用	入会金 30,000円	●スポーツや芸術 (音楽・美術) 体験: プロ講師による指導。					
	授業料月約30,000円	●心の教育: 会話 (言葉) に力を入れて丁寧に指導。情緒を育む。					
	その他 (合宿などは別途)	●自然体験: ガーデニング、キャンプ、釣り、熱帯魚や犬の世話など。					
		●体験共有: 登校時の子どもの活動の様子を、映像で保護者に即日配信。					
子供たちの活動・成長							
<p><名前の由来></p> <p>●「ハッピーニューロン」の名前の由来は「ミラーニューロン」からきています。目の前の人笑うと、思わずこちらまで笑顔になってしまう。そういった現象のことをいいます。このニューロン (神経細胞) のように、自分の<幸せ>が次々と周囲の人に伝わり、他人の<幸せ>となって、共感共鳴して伝播していくことをイメージしました。ご家族はもちろん、不登校の子どもに関わるすべての人が笑顔になっていくことを願っています。</p> <p><活動について></p> <p>●多くの人と食や遊びを共有し、子どもの不安や孤立感の解消につながっています。</p> <p>●有志の保護者と一緒に、食材にこだわった手作りランチタイムを週一回実施。</p> <p>●元気を取り戻した子どもには、学習支援を実施します。(特に国語力の養成を重視)</p> <p><相談カフェ></p> <p>●不登校の子どもを持つ経験のある保護者が相談にのります。悩む保護者の孤立を防ぎ心の安定につながります。</p> <p><出席認定></p> <p>●近隣市町で出席認定 (小・中学生) の実績があります。</p> <p><進路など></p> <p>●現役で学校に復帰した子どもたちもいます。(小・中・高校生)</p> <p>●通信制高校のサポート校として、高卒または高卒資格認定試験合格者もいます。</p> <p>●上記高卒資格取得後、大学、短大、専門学校への進学または就職をしています。卒業生の進路は、看護師、介護士、フロリスト、美容師、理容師、作業療法士、保育士、林業、漁業、花屋、飲食製造業、飲食店、絵本作家、葬儀ディレクター、花屋など</p>							

施設名 神戸フリースクール		所在地 神戸市中央区北長狭通7丁目3-11坂下ビル2階 交通機関最寄駅（徒歩） JR神戸駅10分・阪神西元町駅5分・阪急花隈駅5分					
HP	http://kfs.freeschool.jp/	TEL	078-360-0016				
E-Mail	kobe.kfs@gmail.com	FAX	078-965-7100				
設置者及び代表者	田辺 克之	【施設としての方針】 *子どもたちの自主性を大切にしています *いろいろな表現活動や体験活動(アート・自然体験・様々な遊び)を通じて、子どもたちが自信を持ち、前向きな気持ちになれるよう、ともに歩みます *お互いの個性を認め、尊重し合い、いろいろな人や仲間たちと関わる楽しさを感じられるような活動をします					
設立	1990年 7月						
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	月曜 ~ 金曜 10:30 ~ 17:00						
定員	32名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	30名 (2023年9月末現在)	○	◎	○	○	◎	○
スタッフ	名	【具体的なカリキュラム】 ・仲間たちとの活動を通じた、コミュニケーション力の育成 ・体験プログラムを通じて、生活していく力の育成 ・子ども自身が意欲を持って取り組めるよう、自主学習時間の設定(通信高校のレポート学習、小中学生の自主学習)					
費用	入会金 30,000円						
	授業料 月32,000円						
	その他 活動実費						
子供たちの活動・成長							
<p>毎月の予定は、子どもたちとスタッフが一緒に意見を出し合って決めています。</p> <p>普段は小学生～高校生の子どもたちが一緒になってお出かけ（ハイキングや施設見学など）をしたり、ゲームなどで遊んだりしています。小学生と高校生が別で活動する機会もあります（中学生は選べます）。日ごろから、大きな人たちは小さな人たちを気にかけて、小さな人たちは大きな人たちに頼り、互いに優しい関係を築くことができていることがすごいなあと感じます。</p> <p>もちろん意見がぶつかることもありますが、そのようなときは自分たちで話し合って解決しているようです（スタッフはそのプロセスを見守り、余計な口出しをしないことで、子どもたちが結果を報告してくれます）。</p> <p>ささやかなことですが、いろいろな活動をする中で、参加とパートナーシップを大切に、子どもたちの主体的な活動を進めていくようにしています。</p> <p>好きなことや興味のあることにとことんのめり込むことで自分のしたいことを見つけた子どもたちは、次の道へ向かって巣立っています。</p>							



施設名 ラーンネット・エッジ		所在地 神戸市灘区篠原南町6-1-10 グランピア灘20A号					
		交通機関最寄駅 阪急「王子公園」、「六甲」、JR「摩耶」 下車徒歩 10 分					
HP	https://note.com/learnnet_edge	TEL	078-584-1224				
E-Mail	edge-info@l-net.com	FAX					
設置者及び代表者	駒崎智紀 奥村尚子	【施設としての方針】 ・「自分を照らし、人と互いに照らしあう」を理念とする、10代の探究者のためのマイクロスクールです ・小5～中3を主な対象としています ・探究したいテーマがあること、他者と一緒に物事を作り上げることに価値を感じられることを重視します					
設立	2019年 4月						
受入校種	小・中						
運営日時	月曜～金曜 8:45～15:30						
定員	15名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	13名 (2023年9月末現在)	◎	○	○	○	○	—
スタッフ	2名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 250,000円	・自分が好きなこと、興味があることにひたすら取り組む「マジ探究」の時間が毎日ある					
	授業料 年990,000円	・午前は、数学・文学・英語・体育の他に科目横断型のクラスや論理的に考えたり、批判的に考えていくクラスがある					
	その他 100,000円	・知識供給型の授業は少なく、対話形式で進めている					
子供たちの活動・成長							
<p>午前は、まず、「マイ・スタディ」という自学自習の時間があり、そこではオンライン学習サービス、通信添削、市販のドリル等を進めている。そのあとは、数学・文学・英語に加え、科目横断型、対話型のクラスが80分ずつ2コマある。</p> <p>午後は個人が好きなこと、興味のあることをひたすら探究する時間が90分あり、それぞれが熱心に取り組んでいる。</p> <p>欠席する子はほとんどおらず、穏やかに日々を過ごしている。</p>							

施設名 第一学院中等部 神戸キャンパス		所在地 神戸市中央区磯辺通4-1-38 ザ・シティ神戸三宮ビル7F					
		交通機関最寄駅 阪急・阪神三宮駅、JR三ノ宮駅					
HP	http://www.daiichigakuin-jr.jp	TEL	078-261-1172				
E-Mail	kobe@daiichigakuin.jp	FAX	078-261-1170				
設置者及び代表者	畑中彩香	【施設としての方針】 小学生・中学生およびその保護者が抱える不安や悩み（不登校、学習、高校進学、将来など）を解決するためのきっかけ作りを通じて、生徒第一・1/1の理念のもと、生徒の可能性を引き出すことを第一に考えて活動する。					
設立	2020年4月						
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	月曜～金曜 10:00～17:00						
定員	30名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	14名 (2023年9月末現在)	◎	△	◎	◎	◎	△
スタッフ	9名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 5,500円	①生徒の可能性を引き出す意欲喚起教育の実施 ②キャンパスへの登校機会の設定（週1回） ③基礎力育成に向けた学習サポート（すらら学習） ④個人懇談（電話連携）の定期実施					
	授業料 月11,000円						
	その他 円						
子供たちの活動・成長							
<p>【登校支援】 週1回の登校日を設定。登校曜日は基本、水曜日・木曜日・金曜日であるが生徒の状況を考慮しながら設定している。（生徒の成長例：入会当初は母親の付き添いでの登下校だったが、数か月後には自身で登校できる状態にまでなっている生徒が数名出てきた。）</p> <p>【学習サポート】 タブレット端末を活用した「すらら学習」で小学校高学年内容から中学生内容の復習に取り組んでいる。教科書の範囲に対応しているため自宅での学習も可能だが、なかなか自宅での取り組みが厳しい生徒には登校していただき、生徒に寄り添いながら学習している。また、学校課題（学習ノートや課題プリント）を持参していただき、サポートも実施。時期により夏休み課題や定期テスト対策も可能。</p> <p>【コミュニケーション】 人とのコミュニケーションを大切にしている。曜日により高等部生が運営しているサークル活動にも参加が可能。ゲーム・イラスト・音楽・フットサルなど様々な分野を通して先輩との交流を楽しんでいる。</p> <p>【交流】 月に1回、中等部生同士の交流会を実施している。交流会は高等部生（元中等部生も一部いる）と大学生サポーターが主体となり運営をしている。1対1の関係性から複数人との関係性が構築できるようレクリエーションを通じてサポートをしている。</p>							

施設名 学研WILL学園 大阪梅田キャンパス		所在地 大阪府大阪市北区中崎西1-2-13サプライズビル4F					
		交通機関最寄駅 各線大阪・梅田駅から徒歩15分 地下鉄谷町線 中崎町駅から徒歩1分					
HP	http://willschool.net/	TEL	06-6292-8230				
E-Mail	w-umeda@kame.co.jp	FAX	06-6292-8243				
設置者及び代表者	稲葉 清一	【施設としての方針】 在籍中学校と連携をして学校復帰を目指しながらも、生徒達の成長過程や課題なども考慮しながら一人ひとりに合ったサポートをします。少人数制のアットホームな環境で、同じ経験を共有できる仲間がいるからできる成長が沢山あります。					
設立	平成12年10月	学研ならではの独自カリキュラムで、高校・大学進学も幅広い偏差値帯への進学実績がございます。					
受入校種	小・ 中 ・ 高 ・ 特						
運営日時	月曜～金曜 10:00～19:00						
定員	60名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	45名 (2020年9月現在)	◎	◎	◎	◎	◎	△
スタッフ	15名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 22,000円	総合コース,,,週4日+(水)自由登校日 登校可能					
	授業料 月30,000円～	選択コース,,,週2日+(水)自由登校日 登校可能					
	その他 ー 円	在宅コース,,,週1日～教職員が家庭訪問しての在宅指導 夜間コース,,,週1日～17:00以降で登校できる完全個別指導					
子供たちの活動・成長							
<p>学研WILL学園はGakkenグループが展開するサポート校・フリースクールです。様々な理由で学校に通いづらい生徒達を、幅広く手厚いサポートでお引き受けしています。土日祝を除く平日で、ちょっとゆっくりな10:00～開校。OD(起立性調節障害)などで朝がしんどい生徒も多く通っていますので自分のペースで通学いただけます。</p> <p>登校後は10名前後の少人数クラスで、①心理学やアニメ論など将来に繋がる学びを提供する趣味・教養講座、②学習指導要領に基づき学校復帰後の学習の手助けをする学力向上授業などを展開。e-スポーツ、ダンス、麺活(ラーメンを食べに行く)サークルがあるので放課後活動も楽しめると思います。設置コースは登校日数・時間に応じて、受け皿を拡げていますので自分のペースで通い、学べます。</p> <p>また、社会性を養うため必須となる人間関係においても、完全個別ではない少人数のクラスに慣れる中で自己肯定感を高めることによって、学校復帰後や進学後の環境に馴染むための練習ができます。屋内・屋外含めてバーベキューや遠足、体育大会にクリスマスパーティーと自由参加の行事やイベントが多く、人間関係構築のための下地作りもお手伝いします。</p> <p>独自の教育カリキュラムにより、公立・私立ともに高い高校進学実績を誇ります。学校と塾の"あいの子"のような環境で自信を取り戻し、少しずつ前を向く練習をしませんか。</p>							

施設名 八洲学園 梅田キャンパス 中等部 (フリースクール)		所在地 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第一ビル2階 交通機関最寄駅 JR「大阪」駅 徒歩7分・阪神「大阪梅田」駅、OsakaMetro「東梅田」駅、 「梅田」駅 徒歩5分・JR「北新地」駅・OsakaMetro「西梅田」駅 徒歩3分・ 阪急「大阪梅田」駅 徒歩10分					
HP	https://yashima-jfs.jp/	TEL	06-6343-1173				
E-Mail	staff-umeda@yashima.ac.jp	FAX	06-6343-1174				
設置者及び代表者	林 周剛	【施設としての方針】 ・登校習慣の形成から中学校、高校への進学準備まで無理のない教育活動を目指す。 ・不登校生の「居場所」を提供。					
設立	2014年4月						
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	月曜～ 金曜 9:00～14:30						
定員	80名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	42名 (2023年9月末現在)	◎	△	△	◎	○	—
スタッフ	9名	【具体的なカリキュラム】 ・月水金コースは9:00～12:10に開講。2コマ学習、1コマ自習。 ・火木コースは10:00～14:30に開講。3コマ学習、1コマ自習。 ※11:50～12:40は昼休み ・1コマ50分、教科は5教科(国・数・英・社・理)。 ・教材費は年度ごとに徴収。授業料は無償。 ・火、木曜日の午後から特別クラス(アニメ・イラスト、美容、プログラミング)を開講(半期で30,000円)。					
費用	入会金	円					
	授業料	月	円				
	その他(教材費) 5000円						
子供たちの活動・成長							
<p>学習についての具体的な支援については、基本的に中学校のプリントやワークを持参させ、個々にそれを進ませ、個々の質問にその時々で対応している。学校法人が運営していることや現時点では対応する大人は教員免許を所持していることに安心感が大きい。</p> <p>学期に1回程度、みんなで取り組めるようなモノづくりをする時間や一斉授業(漢字など共通して学びやすい内容)、DVD鑑賞会を実施している。</p> <p>11月に高等学校の芸術祭があり、それに向けて希望する中学生で作品を作る取り組みを実施。</p> <p>月水金コースは比較的10～20名ほど登校しており、火木コースは5名ほどが登校している。教室の雰囲気やコースを決める生徒がほとんどで、登録前に必ず体験をしてもらうようにしている。コースは学期に1回、変更可能としているがほとんどの生徒は変更しない。</p> <p>聴覚過敏や少人数を希望した生徒に対しては教室に空きがあれば別室で対応可能。</p> <p>中学校の各試験も中学校の許可があり、生徒本人が望めば当校で受験可能。</p> <p>出席扱いについては開講当初から受けることができているが、中学校長の判断による。</p> <p>通っている生徒はイジメや教員不振などで不登校になった生徒や発達障害や起立性調節障害で不登校になったなど様々な理由を抱えている。実際に中学校に復帰している生徒もいるが、中学校もフリースクールも登校できていない生徒もいる。月に1回、在籍中学校には登校日や学習内容を記した報告書は郵送し、生徒報告を行っている。保護者には学期に1回、フリースクールでの様子など写真付きの報告書を送っている。</p> <p>生徒の感想としては友達ができ嬉しかった、そのまま高校にも上がれるので安心できるという良い感想もあれば、通学に時間がかかって疲れるという感想もある。</p>							

施設名 八洲学園 三宮キャンパス 中等部 (フリースクール)		所在地 神戸市中央区磯上通8-1-33 幸和ビル2F					
		交通機関最寄駅 JR「三ノ宮」駅 徒歩5分、阪神「神戸三宮」駅 徒歩5分、阪急「神戸三宮」駅 徒歩7分					
HP	https://yashima-jfs.jp/	TEL	078-261-2835				
E-Mail	s-sannomiya@yashima.ac.jp	FAX	078-261-2836				
設置者及び代表者	林 周剛	【施設としての方針】 ・不登校生の「居場所」を提供。 ・登校習慣の形成から中学校、高校への進学準備まで無理のない教育活動を目指す。					
設立	2014年4月						
受入校種	小・ 中 ・高・特						
運営日時	月・火・木曜 9:00 ~ 11:50						
定員	80名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	18名 (2023年9月現在)	○	—	◎	◎	◎	—
スタッフ	9名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 円	・月、火、木の午前中に開講。1日3時間を学習時間と活動時間として実施。					
	授業料 月 円	・1コマは50分、教科は国・数・英・社・理の5教科。					
	その他(教材費) 5000円	・教材費は年度ごとに徴収。授業料は無償。 ・火曜日の午後から特別クラスを開講(半期で30,000円)					
子供たちの活動・成長							
<p>教師は教員免許を所持しています。</p> <p>学習の時間では、基本的に中学校のプリントやワークを持参させ、個々にそれを進めていきます。個々の質問には、その時々で対応をしています。</p> <p>活動の時間では、登校した仲間と一緒に活動をします。ゲーム等で仲間との交流をしたり、個人でできる作品づくりや協力して作る作品づくりを通して、自発的な行動力や自己表現ができるようになることを目標にしています。また、季節感を持てるように、ハロウィンやクリスマスの前にはイベント準備をし、高等学校の生徒と楽しむことができます。</p> <p>2023年9月現在は、約5名~10名ほど登校しており、落ち着いている環境となっています。</p> <p>出席認定については、中学校長の判断によります。許可された場合は、報告書を送付することができます。</p>							

施設名 フリースクールここ 吹田校【あまかり】		所在地 大阪府吹田市内本町一丁目19-7					
		交通機関最寄駅 JR吹田駅／阪急吹田駅					
HP	https://npokoko.org/	TEL	06-6382-5514				
E-Mail	school@npokoko.org	FAX					
設置者及び代表者	三科 元明	【施設としての方針】					
設立	2008年 4月	・吹田市内に3校、大阪市内に1校のフリースクールがあります。					
受入校種	小・中・高・特	・学習時間もあれば、遠足やキャンプなどの課外授業も多くあります。					
運営日時	月曜～金曜 10:00～16:00						
定員	40名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	30名 (2023年9月末現在)	◎	◎	◎	○	◎	○
スタッフ	5名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 20,000円	・基本的には個別学習です。わからないところはスタッフがサポートします。					
	授業料 月44,000円	・学習内容は自由なのでどの科目をしても大丈夫です。					
	その他 年11,000円	・タブレットを使ってもOKです。					
子供たちの活動・成長							
<ul style="list-style-type: none"> ・お昼休みには一緒にご飯をつくっています。(一食400円、参加自由) ・休み時間、放課後はswitchでゲームをしたり、外で遊んだり、おしゃべりをしたり自由に過ごしています。 							

施設名 フリースクールここ南吹田校 【いどばた】		所在地 大阪府吹田市南清和園町3-26					
		交通機関最寄駅 阪急吹田駅から徒歩11分					
HP	http://npokoko.org	TEL	06-6382-5514				
E-Mail	npokoko5514@gmail.com	FAX	06-6382-5514				
設置者及び代表者	三科元明	【施設としての方針】 ビジョン：学校に行っている行っていないに関わらず誰もが受け入れられ自立できる社会を創る。					
設立	2008年4月						
受入校種	小・中・高・特						
運営日時	月曜～金曜 9:00～15:00						
定員	15名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	14名 (2020年9月現在)	○	○	○	○	◎	○
スタッフ	3名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 20000 円	教科学習、野菜作り、体育、芸術					
	授業料 月40000円						
	その他 10000 円						
子供たちの活動・成長							
<p>それぞれの習熟度に合わせた個別学習をスタッフがサポートをする。</p> <p>昼ご飯を希望の生徒は、買い出し・調理をして昼ご飯を食べる。</p> <p>約70名の卒業生は全員進学・復学・就職をしている。</p> <p>保護者の声：「ここ」に娘が通い始めて1年が過ぎました。その当初娘は笑顔も少なく大人に対し不信感を抱いていました。「子供みたいで、楽しい事が好きで、泣き虫で、悪いことが許せない大人」こんな人たち（職員）が娘を笑顔にしてくれました。かっこよくてかわいいこんな人達に出会えてよかったです。</p> <p>生徒の声：フリースクールここは、みんなが自分の話を聞いてくれたり、みんなで外に遊びに行ったりします。そして先生たちも優しいし面白いので気軽に話ができます。自分のペースで過ごすことのできるフリースクールここが大好きで毎日通学できています。</p>							

施設名 学校法人角川ドワンゴ学園 N中等部		所在地 (N中等部通学コース神戸キャンパス) 神戸市中央区海岸通6 建隆ビルII 7階	
		交通機関最寄駅 JR・阪神電鉄本線 元町駅 南東に徒歩7分	
HP	https://n-jr.jp/	TEL	0120-0252-15
E-Mail	support@n-jr.jp	FAX	なし
設置者及び代表者	奥平 博一	【施設としての方針】 新しい学びの場“N中等部”	
設立	2019年 4月	<N中等部の教育方針>	
受入校種	中	「社会で求められる"総合力"を身につける」	
運営日時	(通学)月曜～金曜 9:00 ～ 17:00	総合力を身に付けるために、教養・思考力・実践力の3つを学びます。	
定員	神戸120名・ネット:定員なし	学習支援	屋外活動
		屋内活動	教育相談
		仲間作り	親の会
在籍者数	神戸キャンパス:43名 ネットコース:767名 (2023年9月末現在)	◎	◎
		◎	◎
		◎	◎
		◎	◎
		◎	◎
			— 保護者会 を実施
スタッフ	神戸2名・ネット23名	【具体的なカリキュラム】	
費用	入会金 (通学)110,000円	◎Problem / Project Based Learning : ワークショップ型学習	
	授業料 (週5)月73,700円	◎基礎学習 : 学習アプリ「N予備校」を利用、自分のペースで学習	
	その他 (通学)11,000円	◎プログラミング : 多種多様な教材の中から、興味に応じて選択	
		◎N-English : 対面式と映像授業で実践的な英語学習	

子供たちの活動・成長

「やりたいことを見つけたい・実現したい」多様な選択肢に出会える場所



中学生のうちからN/S高の教育コンテンツを活用



自分のペースで歩み・学ぶ興味を体現する進路設計



“やりたい”を見つけるコーチング



N/S高のネット部活や課外活動で自身の興味を広げる



さまざまなICTツールが無料で使える



豊富なカリキュラムで海外大学への道をサポート

※保護者会は年に2回実施。

※月に1回、生徒の出席状況・学習状況・生活状況などを記載した「学習状況等報告書」を作成しています。生徒・保護者様に同意いただけたら、N中等部から在籍中学校様へ「学習状況等報告書」を送付しています。

施設名 一般社団法人 さつきやま森の学び舎		所在地 大阪府池田市西本町3-1					
		交通機関最寄駅 阪急宝塚線 池田駅					
HP	https://eggs-nature.net/manabiya/	TEL	072-703-3948				
E-Mail	morino-youchien@eggs-nature.net	FAX	072-703-3948				
設置者及び代表者	木村太郎	【施設としての方針】 小学部 今やりたいことが1番目 中高部 幸せになる力をつける場所					
設立	2012年4月	子どもたちのできているところに着目しスタッフは関わる					
受入校種	小・中・高	子どもも、スタッフも自分の気持ちをしっかりと捉え相手に伝える					
運営日時	月曜～ 金曜 9:30 ~ 15:00	相手の気持ちはわからないのでしっかりと話を聞くことに重点をおく					
定員	30名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	28名 (2023年9月末現在)	△	◎	○	○	◎	△
スタッフ	名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 円	クラスごとによります。ホームページをご覧ください。					
	授業料 月50000円						
	その他 年57500円						
子供たちの活動・成長							
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを理解して、行動に移すことができる ・相手の気持ちを勝手に推測するのではなく、ちゃんと対話をして聞き出すことができる ・多数決を使わないので、みんなが納得するまで話し合う力とアイデアを持っている ・年に何度かあるイベントを自分たちで企画し運営をしている ・基本野外での活動となっているので、体力がついてくる ・野外での活動なので五感を上手に使って過ごすことができる ・日々の活動も自分たちで決めるので、創造力がある 							

施設名 一般社団法人デモクラティック スクールまっくろくろすけ		所在地 679-2324神崎郡市川町坂戸592					
		交通機関最寄駅 JR播但線 甘地駅					
HP	https://makkuro20.jp/	TEL	0790-26-1129				
E-Mail	makkuro02@yahoo.co.jp	FAX	0790-26-1129				
設置者及び代表者	黒田喜美	【施設としての方針】					
設立	1997年4月	・生徒の主体性を尊重する教育					
受入校種	小・中・高	・生徒のスクールの運営、自治への参加					
運営日時	月曜～木曜 9:50 ~ 17:45	・クラス分けのない、自然な人間関係の構築					
		・保護者との協力を大事にしており、親の会（第四木曜日イーグレ姫路）を開催している。					
定員	55名	学習支援	屋外活動	屋内活動	教育相談	仲間作り	親の会
在籍者数	38名(不定期含む) (2023年9月末現在)	○	○	○	○	◎	○
スタッフ	6名	【具体的なカリキュラム】					
費用	入会金 10000円	・固定の授業が無く、生徒の主体性、関心を尊重する教育として子ども					
	授業料 年15~25万円	の要望に応えた活動（音楽、料理、遠足、イベントの企画等）					
	その他 活動実費	・生徒の希望に応じた学習支援。					
		・自治への参加による自主性と社会性の育成					
子供たちの活動・成長							
生徒が自らの関心、好奇心に基づきスクール内での活動を決定している。							
子どもたち自身がミーティングで話し合い民主的にスクールの自治をしている。							
活動したいこと（勉強、遠足など）を子どもたちが企画、実行しており、自分たちだけでは難しいことはスタッフに協力してもらい共に挑戦している。							

9. 不登校にかかる国の主な通知とポイント

平成 5 年 3 月 19 日 文部省通知

[登校拒否児童生徒が学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期券制度の適用について](#)



対象となる児童生徒

学校外の公的機関や民間施設において相談・指導を受けている義務教育諸学校の登校拒否児童生徒で、校長が、当該相談・指導を受けた日数を指導要録上出席扱いとすることができることとした者

平成 29 年 3 月 31 日 文部科学省通知

[義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本方針の策定について](#)



- ・全ての児童生徒にとって、魅力あるより良い学校づくりを目指す。
- ・支援に関しては、登校するという結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。
- ・保健室、相談室や学校図書館等も活用しつつ、安心して学校生活を送ることができるよう児童生徒の個別の状況に応じた支援を推進する。
- ・教育委員会・学校と不登校児童生徒を支援する民間の団体との連携を推進する。

令和元年 10 月 25 日 文部科学省通知

[不登校児童生徒の支援の在り方について](#)



- ・不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。
- ・不登校児童生徒が学校外の施設において相談・指導を受けた場合の指導要録上の出欠の取扱いの要件について
学校復帰を前提とする → 社会的な自立を目指す(学校復帰の意思の有無は問わない)

令和5年3月 31 日 文部科学省 通知

[誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について\(通知\)](#)



[誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について\(COCOLO プラン\)](#)

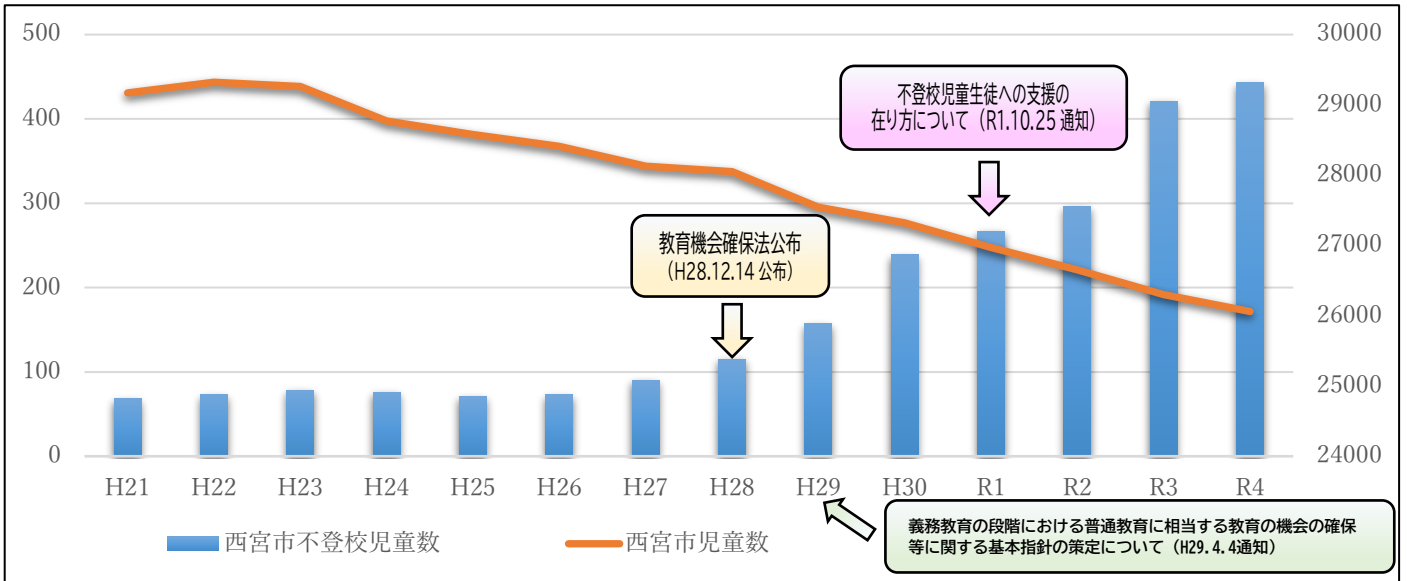


不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、

1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える
2. 心の小さな SOS を見逃さず、「チーム学校」で支援する
3. 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

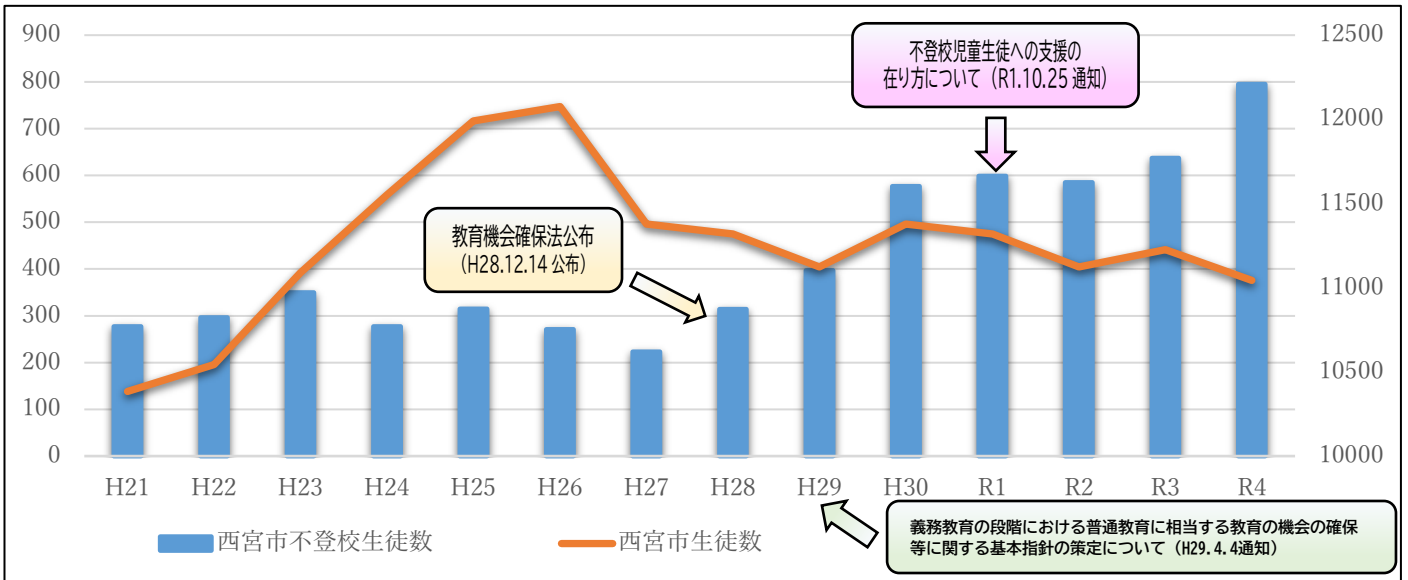
《資料》

西宮市不登校児童生徒の状況（小学校）



西宮市	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全児童数	29,168	29,322	29,261	28,768	28,578	28,410	28,125	28,048	27,543	27,320	26,969	26,652	26,301	26,060
不登校児童数	68	73	78	76	71	73	90	115	157	239	267	296	421	443
出現率	0.23%	0.25%	0.27%	0.26%	0.25%	0.26%	0.32%	0.41%	0.57%	0.87%	0.99%	1.11%	1.60%	1.70%

西宮市不登校児童生徒の状況（中学校）



西宮市	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全生徒数	10,384	10,543	11,090	11,551	11,991	12,076	11,378	11,319	11,124	11,378	11,319	11,124	11,226	11,044
不登校生徒数	277	296	350	277	315	271	223	314	397	577	599	585	637	795
出現率	2.67%	2.81%	3.16%	2.40%	2.63%	2.24%	1.96%	2.77%	3.57%	5.07%	5.29%	5.26%	5.67%	7.20%

不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン
発行 西宮市教育委員会
(令和3年3月、令和5年12月更新)
連絡先 学校保健安全課 ☎ 0798-35-3884,3880

不登校等に関する相談窓口
西宮市立こども未来センター
地域・学校支援課
保護者等 ☎0798-65-1881
学 校 ☎0798-65-1882